

ツリバナ（エリマキ）

ニシキギ科 ^かニシキギ属 ^{ぞく}（落葉低木）^{らくようていぼく}

がくめい

学名： *Euonymus oxyphyllus*

えいめい

英名： (Spindle-tree)



- ・ 葉： 小型の ^は卵形 ^{こがた}～ ^{たまごがた}長だ円形 ^{ちょう えんけい}、ふちは ^{こま}細かいギザギザ ^{さいきよし}（細鋸歯）、^{たいせい}対生

うすくて基部は円形またはくさび形、葉柄あり

- ・ 花： ^{はな}5数 ^{すう}、淡緑色 ^{たんりよくしよく} やや紫 ^{むらさき} を帯びる、果実は ^お球形 ^{かじつ}、^{きゅうけい}赤熟 ^{せきじゆく} し5裂する ^{れつ}

- ・ 冬芽： 先端に ^{ふゆめ}頂芽 ^{せんたん}を ^{ちょうが}1個 ^こ、^{そくが}側芽 ^{たいせい}は ^{まい}対生 ^{がりん}、7～10枚の芽鱗

頂芽は側芽より大きい、長さ6～15mm、葉痕は三角形または半円形

- ・ 花や実がたれさがるから ^{はな}吊り花 ^{つ はな}→ツリバナ、材質は白くなめらかで ^{ざいしつ}美 ^{しろ}しい ^{うつく}



5裂の
丸い実